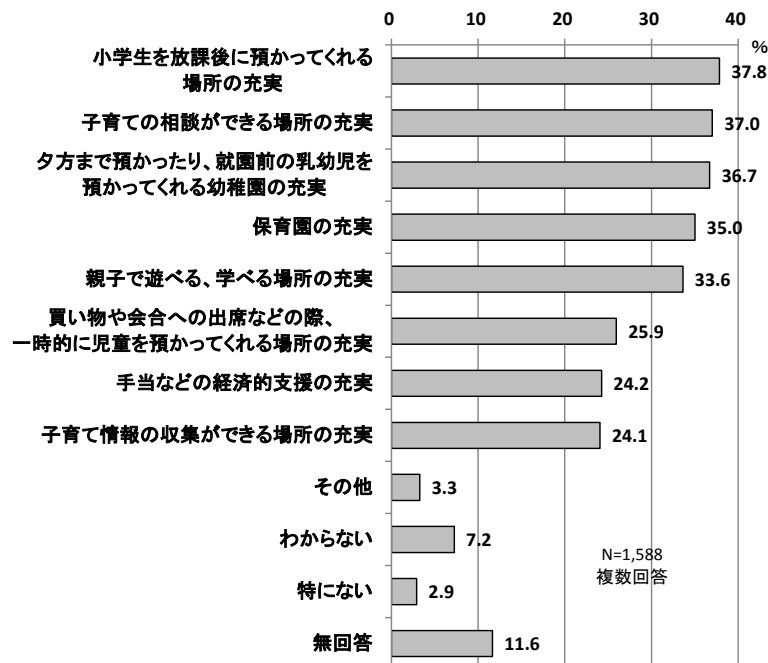


8. 子育て支援について

問17 (乳幼児期から小学生くらいまでのお子さんをお持ちの)子育て中の家庭を支援するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「小学生を放課後に預かってくれる場所の充実」が37.8%で最も多いが、「子育ての相談ができる場所の充実」(37.0%)、「夕方まで預かったり、就園前の乳幼児を預かってくれる幼稚園の充実」(36.7%)、「保育園の充実」(35.0%)、「親子で遊べる、学べる場所の充実」(33.6%)についても3割以上が挙げており、要望項目は多くなっている。以下「買い物や会合への出席などの際、一時的に児童を預かってくれる場所の充実」(25.9%)、「手当などの経済的支援の充実」(24.2%)、「子育て情報の収集ができる場所の充実」(24.1%)と続き、「特にない」は2.9%にとどまっている。



■ 性別・年齢別 子育て中の家庭を支援するため力を入れるべきこと（問17×F1, 2）

- ・男性は「夕方まで預かったり、就園前の乳幼児を預かってくれる幼稚園の充実」、女性は「小学生を放課後に預かってもらえる場所の充実」が最も多い。
- ・年齢別では、20歳代で「親子で遊べる、学べる場所の充実」、30歳代、40歳代、70歳代以上で「小学生を放課後に預かってもらえる場所の充実」、50歳代、60歳代で「子育ての相談ができる場所の充実」が最も多くなっている。また、20歳代では「手当などの経済的支援の充実」、30歳代で「親子で遊べる、学べる場所の充実」「買い物や会合への出席などの際、一時的に児童を預かってもらえる場所の充実」「手当などの経済的支援の充実」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問17 子育て中の家庭を支援するため力を入れるべきこと													
			所 親 子 で 遊 べ る 、 学 べ る 場 所 の 充 実	所 育 て の 相 談 が で き る 場 所 の 充 実	子 育 て の 情 報 の 取 集 が で き る 場 所 の 充 実	保 育 園 の 充 実	幼 稚 園 の 充 実	夕 方 ま で 預 か つ て く れ る 幼 幼 児 を 預 か つ て く れ る 幼 稚 園 の 充 実	預 か つ て く れ る 場 所 の 充 実	買 い 物 や 会 合 へ の 出 席 な ど の 際 、 一 時 的 に 児 童 を 預 か つ て く れ る 場 所 の 充 実	小 学 生 を 放 課 後 に 預 か つ て く れ る 場 所 の 充 実	充 実	手 当 な ど の 経 済 的 支 援 の 充 実	そ の 他	わ か ら な い	特 に な い
全体		1588	33.6 ¹	37.0 ¹	24.1 ¹	35.0 ¹	36.7 ¹	25.9 ¹	37.8 ¹	24.2 ¹	3.3 ¹	7.2 ¹	2.9 ¹	11.6		
F1 性別	男性	691	34.4 ¹	34.9 ¹	22.4 ¹	37.6 ¹	38.4 ¹	21.3 ¹	34.9 ¹	24.9 ¹	3.6 ¹	8.0 ¹	3.0 ¹	8.5		
	女性	847	33.5 ¹	39.8 ¹	26.3 ¹	34.6 ¹	36.4 ¹	30.0 ¹	40.9 ¹	24.8 ¹	3.0 ¹	6.6 ¹	2.7 ¹	12.5		
F2 年齢(年代別)	20歳代	119	57.1 ¹	37.8 ¹	33.6 ¹	41.2 ¹	44.5 ¹	25.2 ¹	28.6 ¹	42.0 ¹	0.8 ¹	5.0 ¹	0.0 ¹	6.7		
	30歳代	184	47.3 ¹	38.0 ¹	29.9 ¹	40.2 ¹	44.0 ¹	40.2 ¹	48.4 ¹	45.7 ¹	8.2 ¹	2.7 ¹	1.1 ¹	3.3		
	40歳代	278	40.6 ¹	38.5 ¹	24.8 ¹	33.8 ¹	38.5 ¹	31.7 ¹	44.2 ¹	32.7 ¹	3.2 ¹	8.3 ¹	2.9 ¹	0.7		
	50歳代	204	28.9 ¹	45.1 ¹	26.5 ¹	43.6 ¹	38.7 ¹	22.5 ¹	37.7 ¹	20.1 ¹	2.5 ¹	7.8 ¹	3.9 ¹	6.9		
	60歳代	310	24.5 ¹	41.3 ¹	24.8 ¹	37.4 ¹	38.7 ¹	26.5 ¹	39.7 ¹	19.0 ¹	1.3 ¹	7.4 ¹	1.6 ¹	12.9		
	70歳代以上	425	26.6 ¹	30.1 ¹	18.8 ¹	29.4 ¹	29.4 ¹	18.1 ¹	31.8 ¹	11.8 ¹	3.5 ¹	8.9 ¹	4.2 ¹	22.6		

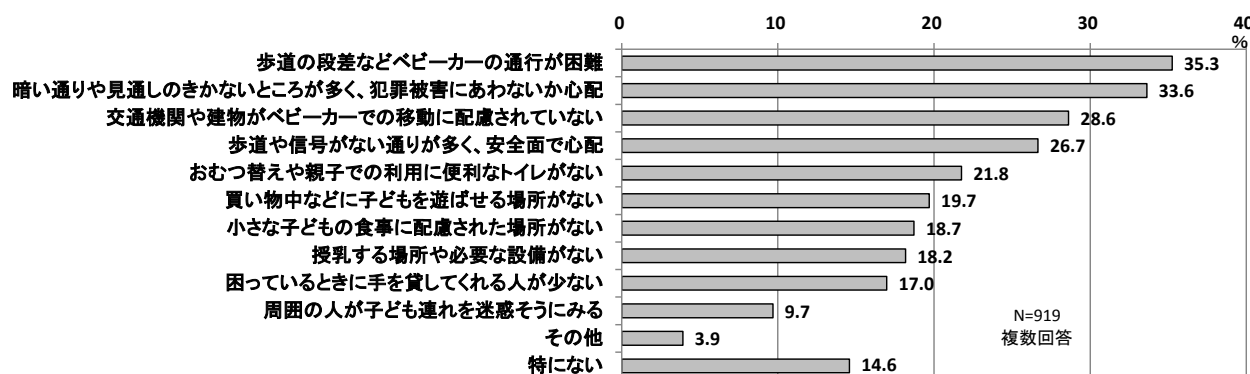
■ 乳幼児・未就学児、学童・学生、高齢者、要介護者の有無別 子育て中の家庭を支援するため力を入れるべきこと（問17×F5）

- ・乳幼児・未就学児がいるケースでは「親子で遊べる、学べる場所の充実」、小学生・中学生がいるケースでは「小学生を放課後に預かってもらえる場所の充実」、高校生・専門学校生・大学生がいるケースでは「夕方まで預かったり、就園前の乳幼児を預かってくれる幼稚園の充実」、65歳以上の高齢者、要介護など支援を要する人がいるケースでは「子育ての相談ができる場所の充実」、これらに該当する人がいないケースでは「保育園の充実」が最も多くなっている。また、乳幼児・未就学児で「買い物や会合への出席などの際、一時的に児童を預かってもらえる場所の充実」「小学生を放課後に預かってもらえる場所の充実」「手当などの経済的支援の充実」が、小学生・中学生のいるケースで「親子で遊べる、学べる場所の充実」「手当などの経済的支援の充実」が、それぞれ全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問17 子育て中の家庭を支援するため力を入れるべきこと													
			所 親 子 で 遊 べ る 、 学 べ る 場 所 の 充 実	所 育 て の 相 談 が で き る 場 所 の 充 実	子 育 て の 情 報 の 取 集 が で き る 場 所 の 充 実	保 育 園 の 充 実	幼 稚 園 の 充 実	夕 方 ま で 預 か つ て く れ る 幼 幼 児 を 預 か つ て く れ る 幼 稚 園 の 充 実	預 か つ て く れ る 場 所 の 充 実	買 い 物 や 会 合 へ の 出 席 な ど の 際 、 一 時 的 に 児 童 を 預 か つ て く れ る 場 所 の 充 実	小 学 生 を 放 課 後 に 預 か つ て く れ る 場 所 の 充 実	充 実	手 当 な ど の 経 済 的 支 援 の 充 実	そ の 他	わ か ら な い	特 に な い
全体		1588	33.6 ¹	37.0 ¹	24.1 ¹	35.0 ¹	36.7 ¹	25.9 ¹	37.8 ¹	24.2 ¹	3.3 ¹	7.2 ¹	2.9 ¹	11.6		
F5 同居されている方	乳幼児・未就学児	166	59.0 ¹	32.5 ¹	28.3 ¹	37.3 ¹	38.6 ¹	44.6 ¹	52.4 ¹	51.2 ¹	5.4 ¹	0.0 ¹	0.6 ¹	2.4		
	小学生・中学生	213	45.1 ¹	35.2 ¹	27.7 ¹	28.6 ¹	37.6 ¹	34.3 ¹	50.7 ¹	46.8 ¹	5.6 ¹	1.4 ¹	1.9 ¹	3.3		
	高校生・専門学校生・大学生	195	37.4 ¹	46.2 ¹	29.2 ¹	40.5 ¹	46.7 ¹	25.1 ¹	41.5 ¹	28.2 ¹	1.0 ¹	2.1 ¹	1.5 ¹	3.6		
	65歳以上の高齢者	457	31.5 ¹	38.5 ¹	24.5 ¹	35.0 ¹	36.3 ¹	26.3 ¹	37.0 ¹	18.2 ¹	3.1 ¹	9.8 ¹	3.7 ¹	9.4		
	要介護など支援を要する人	91	34.1 ¹	42.9 ¹	25.3 ¹	31.9 ¹	34.1 ¹	24.2 ¹	35.2 ¹	18.7 ¹	2.2 ¹	9.9 ¹	2.2 ¹	14.3		
	1～5に当てはまる同居者はいない	357	29.4 ¹	40.6 ¹	24.4 ¹	42.0 ¹	38.9 ¹	25.2 ¹	36.4 ¹	24.4 ¹	3.1 ¹	8.7 ¹	1.1 ¹	10.6		

問18 (乳幼児期から小学生くらいまでの子どもと一緒に外出した経験のある方)外出する際に、困ることや困ったことは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- ・「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」が 35.3%で最も多く、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害にあわないか心配」が 33.6%で続いている。以下「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」(28.6%)、「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」(26.7%)、「おむつ替えや親子での利用に便利なトイレがない」(21.8%)を2割以上の方が挙げている。「特にない」は 14.6%である。



■ 性別・年齢別 子どもと一緒に外出する際に、困ることや困ったこと (問18×F1, 2)

- ・男女とも「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」が最も多い。特に女性は男性より9ポイント高くなっている。また、女性は「授乳する場所や必要な設備がない」が男性より8.3ポイント高く、男性は女性より「特にない」が8.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、20歳代、40歳代、70歳代以上で「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害にあわないか心配」、30歳代と50歳代、60歳代で「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」が最も多くなっている。また、30歳代では「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問18 外出する際に、困ることや困ったこと														
			多歩道や安全面での心配	カーの通行が困難	歩道の段差などベビーカー	ていでの移動に配慮され	力交通機関や建物が配慮され	授乳する場所や必要な設備がない	用におむつ替えや親子での利用に便利なトイレがない	慮された子どもの食事に配慮	遊ばせる場所がない	買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない	暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害にあわないか心配	迷惑そうにみる	周囲の人が子ども連れを	困っているときに手を貸	その他
全体		919	26.7	35.3	28.6	18.2	21.8	18.7	19.7	33.6	9.7	17.0	3.9	14.6			
F 1 性別	男性	401	28.2	30.2	27.4	13.5	20.4	16.0	16.2	29.4	7.0	13.0	4.7	19.0			
	女性	500	25.6	39.2	29.6	21.8	22.6	21.0	22.6	37.4	12.2	20.4	3.4	10.8			
F 2 年齢(年代別)	20歳代	59	33.9	32.2	35.6	23.7	28.8	20.3	18.6	45.8	15.3	11.9	1.7	3.4			
	30歳代	128	33.6	38.3	30.5	25.0	31.3	18.8	32.0	33.6	12.5	22.7	5.5	9.4			
	40歳代	203	27.1	34.5	31.0	20.7	19.7	23.6	22.2	36.5	12.3	15.8	2.5	11.3			
	50歳代	142	19.7	45.1	31.7	16.2	22.5	17.6	15.5	33.1	9.2	13.4	4.2	14.8			
	60歳代	174	26.4	32.2	29.3	13.8	16.7	17.8	17.2	28.7	5.7	16.1	3.4	16.7			
	70歳代以上	182	26.4	31.3	19.2	15.4	19.2	14.3	15.9	33.0	7.7	20.9	5.5	23.1			

■ 居住地区別 子どもと外出する際に、困ることや困ったこと（問18×F3）

- ・中川、和泉北部、和泉中央、しらゆりでは「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」、緑園では「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」、新橋、富士見が丘、上飯田、いちょう団地では「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害にあわないか心配」、下和泉、中田では「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」が最も多くなっている。上飯田団地ではサンプル数が少ないため回答が分散した。

		合計	問18 外出する際に、困ることや困ったこと														
			多歩道や信号が安全面で心配	歩道の段差が困難	歩道の段差などベビーカーの通行が困難	交通機関や建物が移動に配慮されていない	授乳する場所や必要な設備がない	おむつ替えや親子での利用に便利なトイレがない	小さな子どもの食事に配慮された場所がない	遊ぶ場所がない	買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない	被害にあわないか心配	暗い通りや見通しのきかないところが多い	迷惑そうにみえる	周囲の人が子ども連れを	困っているときに手を貸してくれる人が少ない	その他
全体		919	26.7	35.3	28.6	18.2	21.8	18.7	19.7	33.6	9.7	17.0	3.9	14.6			
F3 連合	中川エリア	162	23.5	39.5	32.1	19.8	23.5	20.4	17.9	32.7	9.3	19.1	5.6	11.7			
	緑園エリア	106	11.3	34.0	37.7	17.0	23.6	17.9	25.5	17.9	8.5	17.0	9.4	17.9			
	新橋エリア	42	31.0	31.0	28.6	28.6	26.2	16.7	16.7	57.1	16.7	21.4	4.8	7.1			
	和泉北部エリア	45	11.1	31.1	20.0	17.8	20.0	24.4	17.8	26.7	13.3	20.0	0.0	20.0			
	和泉中央エリア	155	29.7	41.9	31.6	15.5	17.4	20.6	18.7	33.5	7.7	13.5	3.2	12.3			
	下和泉エリア	31	51.6	29.0	16.1	9.7	9.7	16.1	9.7	38.7	3.2	19.4	3.2	22.6			
	富士見が丘エリア	48	39.6	35.4	25.0	16.7	18.8	22.9	14.6	45.8	8.3	16.7	4.2	10.4			
	上飯田エリア	71	23.9	31.0	22.5	23.9	31.0	23.9	25.4	49.3	9.9	14.1	1.4	9.9			
	上飯田団地エリア	9	22.2	33.3	11.1	22.2	33.3	33.3	22.2	33.3	33.3	22.2	0.0	44.4			
	いちょう団地エリア	18	27.8	22.2	16.7	11.1	22.2	16.7	22.2	50.0	16.7	22.2	5.6	22.2			
	中田エリア	179	34.6	33.0	26.8	17.9	20.1	12.8	18.4	31.8	10.1	18.4	1.7	15.1			
	しらゆりエリア	32	18.8	37.5	31.3	18.8	28.1	15.6	25.0	21.9	9.4	6.3	6.3	21.9			

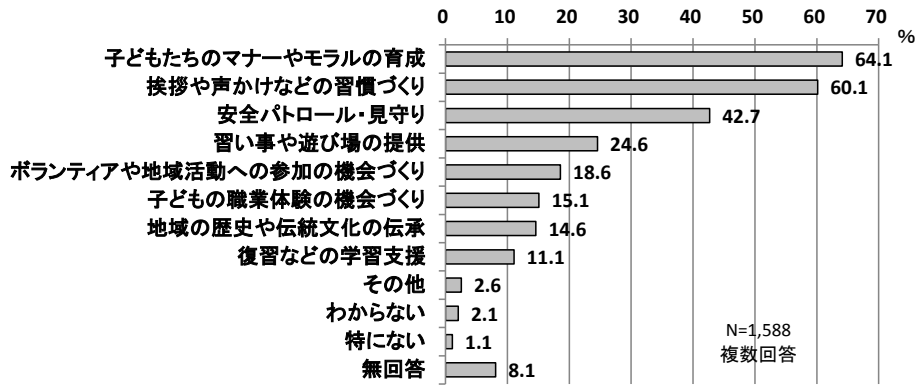
■ 乳幼児・未就学児、学童・学生、高齢者、要介護者の有無別 子どもと外出する際に、困ることや困ったこと（問18×F5）

- ・小学生・中学生、高校生・専門学校生・大学生がいるケースでは「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害にあわないか心配」、それ以外のケースでは「歩道の段差などベビーカーの通行が困難」が最も多くなっている。また、乳幼児・未就学児では「授乳する場所や必要な設備がない」「おむつ替えや親子での利用に便利なトイレがない」「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」がそれぞれ全体値を10ポイント以上超え、困りごとが多くなっている。

		合計	問18 外出する際に、困ることや困ったこと														
			多歩道や信号が安全面で心配	歩道の段差が困難	歩道の段差などベビーカーの通行が困難	交通機関や建物が移動に配慮されていない	授乳する場所や必要な設備がない	おむつ替えや親子での利用に便利なトイレがない	小さな子どもの食事に配慮された場所がない	遊ぶ場所がない	買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない	被害にあわないか心配	暗い通りや見通しのきかないところが多い	迷惑そうにみえる	周囲の人が子ども連れを	困っているときに手を貸してくれる人が少ない	その他
全体		919	26.7	35.3	28.6	18.2	21.8	18.7	19.7	33.6	9.7	17.0	3.9	14.6			
F5 同居されている方	乳幼児・未就学児	160	35.0	45.0	36.9	30.6	35.6	31.9	32.5	31.3	17.5	15.0	3.1	3.1			
	小学生・中学生	194	28.4	30.9	27.8	22.2	20.1	18.6	26.8	40.7	11.9	18.0	4.1	9.3			
	高校生・専門学校生・大学生	155	23.2	39.4	31.6	16.1	24.5	20.0	19.4	40.0	12.3	20.0	1.3	7.7			
	65歳以上の高齢者	241	26.1	34.4	25.3	14.1	18.3	18.3	17.8	32.8	5.0	17.8	2.9	16.2			
	要介護など支援を要する人	54	22.2	44.4	27.8	14.8	24.1	16.7	24.1	40.7	9.3	27.8	1.9	13.0			
	1～5に当てはまる同居者はいない	162	24.7	34.6	24.7	14.8	15.4	14.2	10.5	28.4	6.2	13.0	6.2	22.8			

問19 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割として、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「子どもたちのマナーやモラルの育成」が64.1%、「挨拶や声かけなどの習慣づくり」が60.1%で、これらは6割以上の方が挙げている。以下「安全パトロール・見守り」(42.7%)、「習い事や遊び場の提供」(24.6%)などと続く。



■ 性別・年齢別 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割 (問19×F1, 2)

- ・男女とも「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多い。また女性は男性より「安全パトロール・見守り」が8.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、70歳代以上で「挨拶や声かけなどの習慣づくり」、60歳代までの世代で「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多くなっている。また、20歳代、30歳代では「習い事や遊び場の提供」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	子どもたちのマナーやモラルの育成	挨拶や声かけなどの習慣づくり	安全パトロール・見守り	活動への参加の機会づくり	ボランティアや地域活動への参加の機会づくり	子どもの職業体験の機会づくり	復習などの学習支援	習い事や遊び場の提供	地域の歴史や伝統文化の伝承	その他	わからない	特にない	無回答
全体		1588	64.1	60.1	42.7	18.6	15.1	11.1	24.6	14.6	2.6	2.1	1.1	8.1	
F 1 性別	男性	691	66.7	58.3	39.1	18.4	13.9	9.7	26.8	16.5	2.9	2.2	1.4	5.5	
	女性	847	63.2	62.9	47.3	19.1	16.3	12.5	23.7	13.5	2.4	1.8	0.8	8.5	
F 2 年齢(年代別)	20歳代	119	64.7	57.1	52.1	16.8	18.5	7.6	51.3	10.9	1.7	1.7	0.0	4.2	
	30歳代	184	64.7	60.9	49.5	19.0	19.6	20.7	38.0	15.8	3.3	2.7	0.0	1.6	
	40歳代	278	70.5	64.0	41.7	17.3	24.8	16.9	30.2	12.2	2.2	2.2	0.7	2.2	
	50歳代	204	72.1	60.3	51.5	16.7	14.2	5.4	15.2	10.8	2.5	1.5	2.0	2.9	
	60歳代	310	66.1	62.6	42.6	22.9	12.9	6.5	21.0	18.7	2.6	2.3	0.6	5.5	
	70歳代以上	425	56.9	59.1	37.2	18.6	8.9	11.1	16.9	16.2	2.8	1.6	1.6	17.2	

■ 居住地区別 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割（問 19×F 3）

- ・緑園と新橋、富士見が丘では「挨拶や声かけなどの習慣づくり」、それ以外の地区では「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多くなっている。また、上飯田では「安全パトロール・見守り」の数値が全体値を 10 ポイント上回っている。

	合計	問19 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割として特に重要だと思うもの												
		子どもたちのマナーの育成	挨拶や声かけなどの習慣づくり	安全パトロール・見守り	活動への参加の機会	ボランティアや地域の活動	子どもの職業体験の機会づくり	復習などの学習支援	供養や遊び場の提供	習い事や遊び場の提供	地域の歴史や伝統文化の伝承	その他	わからない	特になし
全体	1588	64.1	60.1	42.7	18.6	15.1	11.1	24.6	14.6	2.6	2.1	1.1	8.1	
F 3 連合														
中川エリア	256	69.5	65.6	45.3	18.4	15.6	10.2	24.6	13.7	1.2	2.0	0.4	3.9	
緑園エリア	175	61.1	68.6	45.1	19.4	17.7	7.4	20.6	13.1	5.7	5.1	1.7	2.3	
新橋エリア	80	55.0	65.0	37.5	18.8	15.0	16.3	25.0	12.5	5.0	1.3	0.0	10.0	
和泉北部エリア	69	65.2	63.8	46.4	20.3	8.7	7.2	24.6	13.0	0.0	0.0	2.9	7.2	
和泉中央エリア	272	64.3	58.1	42.3	19.9	16.5	11.8	28.7	18.4	2.9	1.5	1.5	8.5	
下和泉エリア	60	56.7	51.7	33.3	15.0	13.3	15.0	28.3	21.7	0.0	3.3	0.0	20.0	
富士見が丘エリア	85	63.5	65.9	51.8	24.7	18.8	12.9	34.1	18.8	1.2	1.2	0.0	7.1	
上飯田エリア	129	63.6	58.9	52.7	20.9	10.1	13.2	28.7	15.5	4.7	0.8	0.0	7.0	
上飯田団地エリア	23	56.5	47.8	34.8	8.7	8.7	8.7	13.0	13.0	4.3	8.7	4.3	21.7	
いちょう団地エリア	27	77.8	63.0	44.4	11.1	18.5	18.5	25.9	11.1	3.7	0.0	3.7	3.7	
中田エリア	305	66.2	54.8	39.0	17.0	15.4	10.2	21.3	13.4	1.3	1.3	1.6	8.2	
しらゆりエリア	58	70.7	60.3	44.8	19.0	19.0	17.2	22.4	6.9	3.4	3.4	0.0	8.6	

■ 乳幼児・未就学児、学童・学生、高齢者、要介護者の有無別 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割（問 19×F 5）

- ・乳幼児・未就学児がいるケースでは「挨拶や声かけなどの習慣づくり」が最も多く、小学生・中学生がいるケースでは「子どもたちのマナーやモラルの育成 挨拶や声かけなどの習慣づくり」が同率となっている。それ以外のケースでは「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多い。また、乳幼児・未就学児がいるケースで「子どもの職業体験の機会づくり」「習い事や遊び場の提供」、小学生・中学生がいるケースで「子どもの職業体験の機会づくり」「復習などの学習支援」「習い事や遊び場の提供」が、それぞれ全体値を 10 ポイント以上上回っている。

	合計	問19 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割として特に重要だと思うもの												
		子どもたちのマナーの育成	挨拶や声かけなどの習慣づくり	安全パトロール・見守り	活動への参加の機会	ボランティアや地域の活動	子どもの職業体験の機会づくり	復習などの学習支援	供養や遊び場の提供	習い事や遊び場の提供	地域の歴史や伝統文化の伝承	その他	わからない	特になし
全体	1588	64.1	60.1	42.7	18.6	15.1	11.1	24.6	14.6	2.6	2.1	1.1	8.1	
F 5 同居されている方														
乳幼児・未就学児	166	65.1	72.9	52.4	16.3	25.3	20.5	47.6	15.1	2.4	0.6	0.0	0.6	
小学生・中学生	213	68.1	68.1	52.6	22.5	27.2	23.9	36.2	16.4	0.9	0.0	0.9	2.3	
高校生・専門学校生・大学生	195	69.2	62.6	45.6	16.4	16.9	12.3	28.7	15.4	2.6	1.0	1.5	3.1	
65歳以上の高齢者	457	66.5	59.1	40.0	17.9	13.8	9.4	24.1	16.0	2.4	2.2	1.5	8.5	
要介護など支援を要する人	91	63.7	61.5	36.3	20.9	12.1	8.8	17.6	17.6	4.4	3.3	0.0	7.7	
1～5に当てはまる同居者はいない	357	64.4	56.6	44.8	18.8	14.3	7.0	20.4	12.3	3.9	3.4	1.1	5.0	